

公益財団法人 福岡アジア都市研究所 都市政策資料室

URC資料室だより NO. 104 平成29年5月号

福岡アジア都市研究所は、
福岡市を中心に産学官が
協力して設立した研究機関です。

〒810-0001
福岡市中央区天神 1-10-1
福岡市役所北別館6階
TEL : 092-733-5707
e-mail : library@urc.or.jp

タイトルバック：琴性根氏 (BDI) 撮影

目次

◆URC資料室ニュース

- ①今月のおすすめ URC 総合研究レポート完成報告・・・1
- ②花まち研写真展開催中・・・・・・・・・・・・・・・・・1

◆URCニュース

- ①マンガ・イラスト世界公募「MCPO AWARD」授賞式
開催予告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

- ②平成 29 年度 市民研究員を募集します・・・・・・・・・・2
- ③2017 年度「アジア都市景観賞」募集開始・・・・・・・・・・3
- ④国際研修受け入れ報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
- ⑤研究紀要「都市政策研究 第 19 号」投稿論文募集・・・3

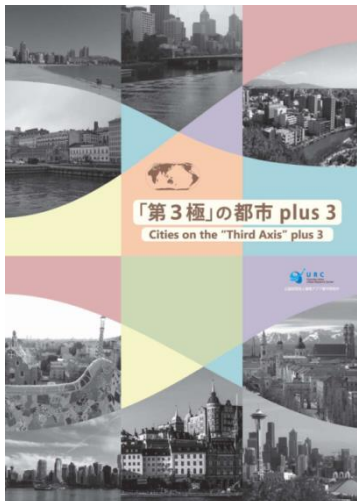
- ◆URC メディア紹介情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
- ◆「資料速報 平成 29 年 4 月受入分」・・・・・・・・・・・・・・別添

◆URC資料室ニュース

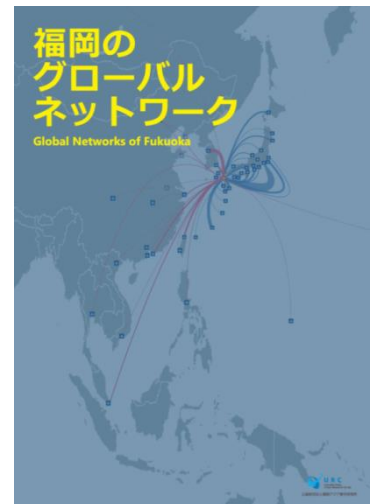
①今月のおすすめ : 平成28年度URC総合研究レポート『「第3極」の都市 plus 3』および『福岡のグローバルネットワーク』を発行しました！

平成 26 年度の総合研究の最新アップデート版である『「第3極」の都市 plus 3』と昨年度のURCの総合研究として進行していた『福岡のグローバルネットワーク』の2冊を刊行いたしました。

『「第3極」の都市 plus 3』では、福岡・シアトル・バンクーバー・メルボルン・ミュンヘン・バルセロナに、新たにストックホルム・ヘルシンキ・釜山を加えた合計 9 都市を比較し、福岡では、インバウンド関連の指標が大きい伸びを示した一方で、イノベーション・生産性に関する分野の更なる取り組みの必要性など、進歩と課題を示しながら、「都市の成長」を大きく発展させた福岡の姿を浮き彫りにしました。こうした二年間での変化を踏まえ、報告書の最後には、最新の福岡での産学官による革新的な動きが紹介されています。



『福岡のグローバルネットワーク』では、国内の地方中枢都市（札幌・仙台・広島）の中で、最も国際化が進んでいる福岡の、グローバルネットワークの実態を可視化しています。人や企業、資本、モノ、文化のインバウンド・アウトバウンドを図示すると、福岡のグローバルネットワークが、インバウンドでは伸びを示しているものの、アウトバウンドでは、他の国際都市などとは大きな差があることが分かります。ここでも、福岡でのイノベーション創出の必要性、インバウンド受け入れのみならずアウトバウンド支援の重要性が明らかになりました。



両報告書は、URC のホームページで無料公開するとともに、資料室でも閲覧できますので、どうぞお立ち寄りください。

(滝本一馬 研究スタッフ)

②福博：花まち研究会 写真展開催中

3月21日火曜日、平成28年度第4回ナレッジコミュニティ「福博の街 花を飾っておもてなし～花の美しい都

市をめざして～」開催前後の時間を利用して、福博：花まち研究会の5年間の活動を振り返る、写真展を開催しまし



た。活動の写真に加え、メンバーが撮りためた国内外の理想的な花の演出事例を展示しましたが、現在、引き続き資料室で展示しています。

ナレッジコミュニティは、参加者の皆さんがお知り合いになることで、新しいコミュニティが生み出されることを目標にしています。今年度も、魅力的な内容を企画したいと思っております。どうぞご期待ください。

写真出典：URC撮影 (山崎三枝 司書)

◆URCニュース

①新たな才能の誕生に立ち合える！マンガ・イラスト世界公募「MCPO AWARD」授賞式を開催します！

URCでは、一般社団法人まんがコンテンツ振興機構(通称、まんがしーぼ)主催のマンガとイラストのコンテスト「MCPO AWARD」に協力しています。まんがしーぼはマンガの新しい可能性を追求し世界と繋がるコンテンツづくりを目指す団体で、漫画家や関連企業にビジネスのコーディネートや海外交流の場を作る活動をしています。

URCはこの活動理念に共感し、コンテストに協力することになりました。

MCPO AWARDには日本だけでなく、アジア、北米、南米、ヨーロッパ、そしてなんとアフリカからも作品が届き、応募総数は5,534点でしかもその半数近くは海外からとなっており、世界公募に相応しいものとなっています。

4月16日(日)には福岡アジア美術館「あじびホー



公開審査会の模様。アメリカからも読み応えのある作品。会場はメモを取る人も多く、熱気に包まれていました。

ル」にて公開審査会が催され、「クッキングパパ」の作者うえやまとち先生や、「マクロスシリーズ」や「ガンダムシリーズ」のキャラクターデザイナーの美樹本晴彦先生ほか、現在ご活躍の漫画家・イラストレーターの方々が直接審査するという豪華なイベントになりました。

授賞式は5月14日(日)に福岡市博物館で開催されます。入場無料で、受賞作品のマンガが読める展示コーナーの他、「ゴッドサイダー」作者の巻来功士先生をお招きしてのトークショーもあります。世界のマンガやイラストを直接感じる貴重な機会です。多くの方の来場をお待ちしています。

(詳しくはこちら：<http://manga-cpo.jp/>)

写真出典：一般社団法人まんがコンテンツ振興機構様 ご提供 (中島賢一 調整係長)



4/14(日)の公開審査会の模様。韓国からの作品。

左から、ひびき玲音先生、美樹本晴彦先生、うえやまとち先生、瀬口たかひろ先生、水無月すう先生

②平成29年度 市民研究員を募集します！

5月8日～6月9日まで、「住んで、来て、楽しい福岡の街づくり」～ポテンシャルを生かした新しい福岡の魅力づくり～をテーマに市民研究員を募集します。興味・関心をお持ちの方は、ぜひご応募ください。また、皆様のご家族や友人・知人の方にも、ご案内をお願いします。

「福岡市では、市民生活の質の充実という面では、保育所の新設・小規模保育事業所の許可や通院助成を小学6年生まで広げるなどの対策とともに、40歳代、50歳代

の「よかドック」(国保の特定健診)を無料化し、東区千早には図書館、音楽・演劇練習場などを備えた「なみきスクエア」を整備し、2017年10月には福岡市科学館、2018年12月には「総合体育館」などの開館を目指しています。また、都市の成長のための整備という面では、クルーズ船が寄港する「ウオーターフロント」地区の整備とともに、天神地区では約30棟の民間オフィスビル等の建て替えを誘導する「天神ビッグバン」や舞鶴公園と大濠公園の一体的整備活用を図る「セントラル・パー

ク構想」、先端技術を駆使した次世代型都市「福岡スマート・イースト」プロジェクト等を推進しています。

これらは、来たる時代状況に相応しい都市社会システムの構築であり、100 万人都市から 150～200 万人都市へと福岡市の成長に伴う都市基盤・都市機能の拡充のために必要な整備です。

そこで、これら新しい都市システムや都市基盤・都市機能の拡充・整備を織込みながら、市民にとって楽しく、

③2017年度「アジア都市景観賞」の募集を開始しました！

アジア都市景観賞は、アジアの人々にとって幸せな生活環境を築いていくことを目的とし、国連ハビタット福岡本部をはじめ、アジアハビタット協会、福岡アジア都市研究所、アジア景観デザイン学会によって2010年に創設され、他都市の模範となる優れた成果をあげた都市、地域、大規模事業等をアジア各国・地域から募集・選考し、表彰する国際賞です。これまでの7年間に14か国79団体を表彰してまいりました。

毎年開催される授賞式典では、たくさんの参加国・参加者が景観をキーワードに交流を行っています。昨年銀川で開催された授賞式には国内外から総勢1万人以上が参加していました。今年は都市間や民間の国際交流の機会が更に拡大すると期待されています。

日本国内のみならず、特に中国・韓国・東南アジアでの受賞に関するマスコミ報道は毎年右肩上がりが増加しており、受賞地域は海外にも広く知られることとなります。

地元の優れた景観をアジアに向けて発信することは、交流やインバウンド誘致に向けた絶好の機会となります。

④国際研修受け入れ報告

2017年4月、韓国の「烏山（オサン）市水道局」、「大同（デドン）大学病院経営課(写真)」とフィリピンの「ブラカン州視察団」が福岡市を訪れ、福岡市国際視察研修プログラムに参加しました。烏山市水道局は、「上水道施設の優秀事例調査」をテーマとし、福岡市の多々良浄水場と乙金浄水場、大同大学病院経営課は、高齢者又は体が不自由な方の福祉に関する多様な取り組みを学ぶために、福岡市民民福祉プラザを視察しました。また、ブラカン州視察団は、福岡市のクリーンパーク臨海工場（ごみ焼却施設）を視察し、先進的なごみ処理方法について研修を受けました。

ご多忙の中、海外からの視察研修依頼を受け入れ、丁寧に対応して頂いた福岡市の関係者の皆様に、視察団の方々

⑤研究紀要「都市政策研究 第19号」の投稿論文を募集します！

『都市政策研究 第19号』に掲載する投稿論文を募集します。論文の内容は、都市政策に関連する研究成果をまとめたものとし、特に、福岡市の都市政策に対する何らかの

外来者にとっても楽しくなるような福岡市のまちはどうあるべきなのか、皆さんのそれぞれの立場から構想し、市民研究員として研究し、提案してみませんか。皆さんの応募をお待ちしております。」(平成29年度募集要項より)

都市政策資料室では、ご応募の参考になる都市政策関連の本を多数用意しています。どうぞご利用下さい。

(嶋岡和久 主任研究員)

今後も「アジア都市景観賞」のブランド力向上に努めてまいります。

・主な予定

| | |
|-------------|------------|
| 応募申請期限 | 2017年5月31日 |
| 予備審査会 | 2017年6月上旬 |
| 最終審査会 | 2017年7月中旬 |
| 授賞式（中国：銀川市） | 2017年9月下旬 |

atn 2016 亚洲都市景观颁奖礼暨银川城市节
Asian Townscape Awards Ceremony & City Festival of Yinchuan



2016年授賞式の様子(中国：銀川市)

写真出典：URC 撮影 (嶋岡和久 主任研究員)

は心からの感謝の意を表しながら、充実感であふれる様子で帰国の途につかれました。



写真出典：URC撮影 (李 英雄 国際視察研修担当)

投稿期限は、査読を要する論文は2017年8月31日、査読を要しない論文は2017年9月29日です。投稿資格は、原則としてURC職員、福岡市職員、または賛助会員の方ですが、大学の研究者等で編集委員会が認める場合はこの限りではありません。

投稿規定の詳細はURCホームページに掲載しています。投稿を検討・希望される場合は、下記まで事前(6月末まで)

にご連絡(ご相談)をお願いします。また、皆様のお知り合いやお近くに論文を発表されたい方や、興味がありそうな方がいらっしゃいましたら、ぜひご案内ください。

ご投稿をお待ちしております!

【専用メールアドレス: toshiseisaku@urc.or.jp】

(山本美香 主任研究員)

◆URCメディア紹介情報—最近1か月の情報を中心に—

◎新聞

(2017/4/23 西日本新聞 朝刊 3p)

提論—明日へ 適正な仕事 全ての人に働きやすさと働きがい—

FDC シニアフェロー 松田美幸さんが執筆

(2017/4/18 日本経済新聞 朝刊 6p)

波瀾風間 老朽物件 リノベと地域が高める価値
市民研究員 OB 吉原勝己さんのリノベーション活動が紹介される。

(2017/4/15 福岡市政だより 5p)

わたしの NEXT チャレンジ インドとの友好を深める
NEXT URC OB クマル・ダルメンドラさんの活動が紹介される。

(2017/4/13 日本経済新聞 朝刊 35p)

福岡に大型ベンチャーを 支援施設、市など官民で開設
「支店経済」脱却めざす

URC「Fukuoka Growth July2016」の開業率が引用される。

(2017/4/7 西日本新聞 朝刊 28p)

福岡市に創業支援拠点 三井住友銀や日本総研 海外企業との連携も後押し

FDC が加わる創業支援プロジェクト開始

(2017/4/7 日本経済新聞 朝刊 35p)

福岡の VB 支援で連携 地域戦略推進協 三井住友銀などと

FDC が加わる創業支援プロジェクト開始

(2017/4/6 西日本新聞 朝刊 21p)

福岡市のグローバル化推進 URC 久保氏ら分析と提言
出国率上昇や海外路線強化を 「都市の成長」分野は発展途上

久保隆行上席主任研究員らがまとめた福岡市の都市力をテーマにした2つの報告書が紹介される。

(トップページ: 今月のおすすめ参照)

◎雑誌

(2017/4/20 福岡 Walker 5月号 83p)

九州で今輝いている、あの人の素顔に迫る! キャッチアップピープル People!

中島賢一調整係長が紹介される。

(2017/3 地域研究交流 vol.32 NO.1(No.97))

11p 地方シンクタンク協議会 論文アワード2016
入選論文 テーマ「地方創生」 柳基憲研究主査が優秀賞を受賞

19~28p 柳基憲研究主査の受賞論文「ICTを活用した外交人材の活躍支援と地方創生に向けた取組み—CIP(Creative Innterchange Platform)の活動事例からの考察—」が掲載される。

◎Web 情報

(2017/4/21 DUDA INTERVIEW)

ポケモン GO で福岡市のまちづくり 「スーパー係長」

中島さんの半端ない仕事術

中島賢一調整係長が紹介される。

<https://mirai.doda.jp/series/interview/kenichi-nakashima/>

(2017/4/13 TEDxHakata 14:02)

「絶対聞くべき」トーク! Nakashima Kenichi: "Game on!"

中島賢一調整係長のゲームに対する思いが紹介される。

<https://www.youtube.com/watch?v=SUD07KpEOGE>

◎テレビ

(2017/4/20 テレビ西日本 19:57~奇跡体験 アンビリーバボー)

「桜並木よ永遠に~想いが繋ぐ魂のリレー」内で、松原桜を守った人として、URC 初代会長川合辰雄さんと、元参与石井聖治さんの活動が紹介される。

http://www.fujitv.co.jp/unb/contents/170420_1.html

(2017/4/16~30 J:COM チャンネル福岡 市民が主役!ふくおかまい COM)

春のまち歩き 長尾・樋井川編

市民研究員 OB 吉原勝己さんと吉良幸生さんが福岡路地市民研究員としてまち歩きに参加

<http://tv.myjcom.jp/>

◎ラジオ

(2017/4 毎週金曜日 ローカルラジオ放送こみてん 18:00~18:25)

スポガで Ready Bowl!! 市民研究員 OB 吉田勝さんがパーソナリティを務める。

編集後記

今年の桜は、予測不能な開花時にはじまり、満開時の雨など、波瀾万丈でしたが、楽しめましたか?

4月20日にオンエアされた、『奇跡体験アンビリーバボー:「桜並木よ永遠に~想いが繋ぐ魂のリレー」』には、なんと初代会長と石井元参与が!お懐かしい~

昨年10月のナレコミ以降(?)超売れっ子の中島さん。今号でも「記事にしましょうか?」と聞くと「もうやめましょう!」ということでしたので、掲載情報をご紹介しますだけにしておきます。もちろん、雑誌は購入しています。どうぞ資料室でご覧ください!

不安定な気候が続きますが、お元気で楽しいGWを過ごされますように!(崎)